

令和2年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校） 第1日

7月17日（金曜日）に、県教育研修センターにおいて中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）の第1日目を実施しました。



課題研究の計画検討の様子



「中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）」は、教員経験12年目の教諭を対象に今年度から開講された講座です。午前中は、講義「人権教育の推進」、研究協議「学校のみドルリーダーを意識した課題研究の計画検討」を行いました。

受講者は、基本研修としては久しぶりの研修でしたが、活発な研究協議がなされていました。

午後の高等学校との研究協議では、高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒の事例について、インシデント・プロセス法によるケース会議を行いました。特別支援教育の視点を生かした支援方法の検討がなされ、特別支援学校の受講者はファシリテーターとして、高等学校の受講者の意見や具体的な支援策を上手に引き出すことで、実りある研究協議となりました。

研究協議「特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方」 14:30～16:00

特別支援学校の受講者アンケートより

- ・ファシリテーターが自分に務まるのか不安だったが、実際に行うことによってさらに専門性を磨く必要があると痛感した。一緒のグループの先生からも困り感のある生徒が他にもいて...と聞き、支援学校の教員として、どんなケースにも対応できるようにならなければいけないので、さらに経験を積み、研修していきたいと思った。

高等学校の受講者アンケートより

- ・特別な配慮を必要とする生徒はどんな学校にもいると思いますが、専門の先生からアドバイスいただくと、やはり自分では気づかないような対応の仕方をしていただけたことが分かりました。学校の枠を超えた連携の大切さを学びました。



高等学校と合同での研究協議の様子